

[012]生活体験学習研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/26722>

出版情報：生活体験学習研究. 12, 2012-01-20. 日本生活体験学習学会
バージョン：
権利関係：

日本生活体験学習学会 事務局報告

I 理事会会議日程

- 第1回理事会 2011年3月19日
於 福岡市大名公民館
- 第2回理事会 2011年5月14日
於 福岡市大名公民館
- 第3回理事会 2010年7月2日
於 西九州大学短期大学部
- 第4回理事会 2011年9月10日
於 福岡市大名公民館
- 第5回理事会 2011年11月19日
於 福岡市大名公民館
- 第6回理事会 2012年1月28日
於 西九州大学短期大学部

II 会員実数

- 全109名
- 個人会員 108名
- 法人会員 1名
- (2011年12月14日 現在)

III これまでの活動

- 第12回研究大会 開催
2011年1月22日
於 福岡教育大学
- 学会誌第11号の発刊
2011年1月20日 発行
- 事務局だよりの発行
2011年4月13日 第11号 発行
- 2011年10月11日 第12号 発行
- 研究会 開催
- 第1回 2011年3月19日
於 福岡市大名公民館
- 第2回 2011年5月14日
於 福岡市大名公民館
- 第3回 2010年7月2日
於 西九州大学短期大学部
- 第4回 2011年9月10日
於 福岡市大名公民館

第5回 2011年11月19日
於 福岡市大名公民館

本年度は研究活動の充実に向けて、理事を中心とした研究会を開催した。様々なテーマから生活体験学習について検討し、さらなる学会の飛躍に向けて議論を交わした。

IV 総会・理事会での決定事項

(1) 第12回総会における決定事項

まず、事務局長が2010年度の会務報告を行い、了承された。次に、2010年度の会計決算報告がなされた。会計監査の加知ひろ子会員から相違ないとの監査報告がなされ、了承された。また、2011年度の会計予算案を提出し、了承された。

理事会からの報告では、学会誌第11号の発刊について、並びに2012年度も学会誌(第12号)を発刊予定であることが報告され、了承された。

(2) 第1回理事会での決定事項

第1回理事会では、以下の3点が協議ならびに確認された。

2011年度の研究活動として、研究担当理事を中心に計画案を作成し、取り組んでいくこと。また、2004年度まで開催してきた実践交流会の復活に向けて検討を重ねていくことが確認された。

学会誌第12号の発刊に向けて紀要編集担当理事から報告があった。第13回研究大会を目標に発行することが確認された。

学会ホームページについて会員のニーズを分析し、コンテンツの検討および更新を行い、内容を充実させていくことが確認された。

(3) 第2回理事会での決定事項

第2回理事会では、以下の4点が協議の上、承認された。

学会誌編集規定を見直し、第13号から執筆者への掲載料負担を検討していくことが提案された。今後、予告的に掲載料について事務局だよりで会員に案内し、総会で審議を図ることが確認された。

第13回研究大会を、西九州大学短期大学部で

開催することが確認され、開催校主催シンポジウム、学会企画シンポジウムについて、今後協議していくことが確認された。

学会の学術団体登録について、書類の確認がなされ、後日申請手続きを行うことが確認された。

2012年度役員選挙の日程案が事務局より提出され、確認された。選挙管理委員を福岡地区の会員から選出することが決定し、次回委員を確定することが確認された。

(4) 第3回理事会での決定事項

第3回理事会では、以下の4点が協議の上、承認された。

学会誌第12号で扱う学術論文、実践論文、書評について、紀要担当理事より報告がなされた。また、学会の財政状況や他学会の傾向から、執筆者への掲載料負担について、投稿論文に限り徴収することが協議の後、了承された。金額は紀要委員会で検討の上、再度理事会に提案されること。更に学会誌編集規定第10条に新規項目を挿入することが確認された。

研究担当理事より第13回研究大会の大会テーマおよびシンポジウム内容案が提出された。2007年第8回研究大会佐賀大会でのテーマと関連付けた内容にしていくことが協議の中で確認され、今後研究担当理事と引き続き検討していくことが確認された。

2012年度役員選挙の選挙管理委員の選出がなされ、選挙日程について事務局から提案された。今後、選挙管理委員会の立ち上げ、具体的な日程の確定を行っていくことが確認された。

学会ホームページについて、会員の様々な活動についても紹介し、情報収集・提供の充実を図っていくことが提案された。

(5) 第4回理事会での決定事項

第4回理事会では、以下の3点が協議の上、承認された。

学会誌第12号発行に向けて、エントリー状況、学会誌構成案、書評書籍の選定について報告された。また、論文掲載料および学会誌編集規定第10条に条項を新設する旨が紀要編集委員より再度提示され、了承された。

第13回研究大会でのシンポジウムテーマ案について、早急に議論し決定していくことが確認された。また、開催校主催シンポジウムの内容、登壇者について開催校から報告がなされた。

2012年度役員選挙について、事務局より進捗状況が報告された。また、選挙日程についても確認がなされた。

(6) 第5回理事会での決定事項

第5回理事会では、以下の4点が協議の上、承認された。

紀要担当理事より、学会誌第12号編集作業の進捗状況について報告がなされた。

2012年度役員選挙の開票結果が選挙管理委員より報告された。今後、候補者への内諾手続きを経て、理事会および総会で承認を得ていくことが確認された。なお、監査役については、4名の候補者から理事選出会員を除いた2名の会員に内諾をとること決定した。

第13回研究大会について、自由研究発表者への連絡、会員への大会参加申し込み用紙送付、総会準備等、当日の流れについて確認がなされた。また、大会要項の内容について確認され、加筆修正後、会員に発送することが確認された。

次期三役体制についての意見交換会を、現三役にて協議し、意見交換をすることが協議の上決定した。